

常陸大宮

2017
2
No.77



主な内容

P2～3	1月9日 常陸大宮市成人式
P4～5	常陸大宮市の公共交通
P6	平成22年4月から12月に叙勲・褒章を受章された方々
P10～11	スポーツ大会結果
P12	DEMO ミニミニ版 学びびと
P13	ふるさと見て歩き

子ども達が手にしているのは楮^{こうぞ}。
紙の原料です。

1月9日 常陸大宮市成人式

今年、成人を迎えたのは521人（男261人・女260人）で、振袖やスーツ姿の新成人が二十歳の門出を祝いました。成人式は、成人式実行委員会実行委員の大森彩弓さん、高沢友里香さんの司会進行により執り行われ、三次市長と実行委員長若杉良平さんの主催者あいさつに続き、成人者への記念品贈呈、来賓の方々からお祝いの言葉が贈られました。そして、その後、代表者2人による「はたちの主張」が述べられ周囲の方達への感謝の気持ちと今後の抱負を語りました。成人式に出席した431人の皆さんの表情は、この日を迎えられた喜びに光輝いていました。



▲若杉実行委員長



▲川崎貴司さん



▲石川愛美さん



▲三次市長より成人者代表富山一真さんへ記念品の贈呈



▲式典前のひととき



▲スーツ姿がさわやかです



▲装いもポーズもバッチリ！



▲式典後に記念撮影

新成人に聞きました!

①常陸大宮市のココが好き!

②将来の夢・目標は?

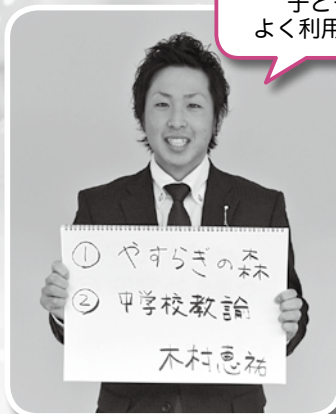


水戸商業高等学校野球部
出身で、サードを守り
甲子園に出場!

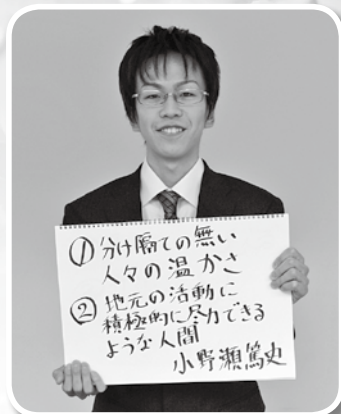


① 魚の塩焼き
② 野球指導者
檜小航

「やすらぎの森」は
子ども会の行事で
よく利用していました!

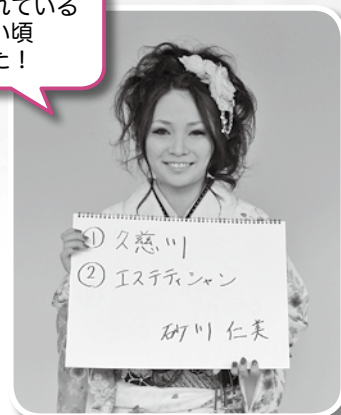


① やすらぎの森
② 中学校教諭
木村恵祐



① 分け隔ての無い
人々の温かさ
② 地元の活動に
積極的に尽力できる
ような人間
小野瀬篤史

家のすぐそばを流れている
久慈川で小さい頃
よく遊びました!

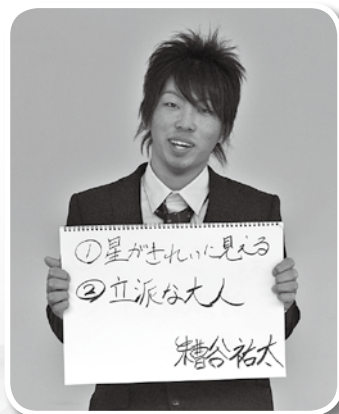


① 久慈川
② エステティシャン
砂川 仁美

小学校は楽しい思い出が
いっぱい。今でも小学校
時代の友人と仲良し!



① 小学校の風景
② 社会福祉士
高岡亜也子



① 星がきれいに見える
② 立派な大人
糟谷祐太



① 空気がいい
② 安定性をもつ
堀江誉法



〜成人式実行委員の皆さん〜
各中学校から推薦された48人の
皆さんが成人式の企画・運営を行
いました。

常陸大宮市の公共交通

常陸大宮市地域公共交通連携計画策定

少子化が進み、財政状況も厳しくなるなかで、安全で安心して地域で暮らせる生活環境と、気軽に外出が出来る移動環境を確保しなければなりません。そして、地球環境への負荷の軽減等を踏まえ、市民の移動ニーズに対応した公共交通体系の再構築を図って行く必要があります。

市では、市民バスと乗合タクシーの利用ニーズに対応した運行見直しや公共交通に関する情報提供と各種事業者との連携を実施し、持続可能な公共交通体系の実現を目指すために、「常陸大宮市地域公共交通連携計画」を策定しました。

これまでの経緯

市民の生活交通を確保するため、平成18年7月19日に市民バスの試行運行を開始しました。そして、平成19年10月1日より本格運行を開始し、必要に応じて検討見直しを行いながら、利便性の向上を図ってきました。

さらに、市内移動の利便性を向上させるため、平成21年10月1日より御前山地域で乗合タクシーの運行を行い、平成22年4月19日からは市内全域で運行を実施しています。

公共交通に関するニーズ

計画策定の基礎資料とするため、平成22年4月に「市民アンケート調査」と「御前山地域における乗合タ

クシー登録者アンケート調査」を実施しました。

「市民アンケート調査」は、市民の公共交通等に関するニーズを把握するため20歳から85歳までの市民3千人を対象として実施し、「御前山地域における乗合タクシー登録者アンケート調査」は、利用実態と利用者から見たシステムの評価を把握するため御前山地域の乗合タクシー登録者全員を対象として実施しました。そして、その結果に基づき現状を分析し、見直しの方針と施策の検討をまとめました。

公共交通に関する課題

アンケートの結果を集計し、分析すると3つの課題が浮かび上がりました。

課題1 公共交通の役割分担

現在、市内には、JR水郡線、路線バス、市民バス、乗合タクシー、福祉タクシー、一般タクシー、スクールバス、福祉有償運送の8つの公共交通があり、市民の日常の移動を支援しています。

このように、多様な公共交通があることは、利用者にとって、状況に応じて移動手段を選択出来る半面、サービス区域や対象者等が重複し、非効率的な運行となっているのが現状です。

そのため、それぞれの公共交通の特性を生かしながら、市民の移動ニーズに対する役割を位置づけ、それを果たすためのサービス確保に努めていく必要があります。

課題2 高齢者等の移動手段の確保

アンケート調査の結果によれば、6・4%の人が外出する際に移動手段がなくて「困ることがよくある」と回答していて、さらに、11・9%の人が「困ることがたまにある」と回答しています。

これらの回答をした方のほとんどが高齢者で、運転免許や自家用車を

持たない人が多くなっています。そのため、そのような方が、快適に外出出来るような環境を確保するうえで、地域にあった移動手段を継続的に運行していく必要があります。

課題3 公共交通への意識の高揚

自家用車の便利さが優先されたライフスタイルとなっている現在、市民の公共交通に関する意識が希薄となっています。

しかし、将来、自家用車を利用出来なくなった時に、快適に外出が出来るような環境を確保するためにも、公共交通を維持し、地域の移動手段として確保していくことが重要です。



そのため、多くの市民が公共交通に関心が持てるような仕組みを考えていく必要があります。

計画の基本方針

公共交通に関する3つの課題を解決するため、地域にあった持続可能な公共交通体系を構築しなければなりません。

そこで、市民、行政、事業者等が連携・協力していくことで、持続可能な公共交通を確立し、市民バスと乗合タクシーの共存による市内移動の充実を図ります。そして、市民の公共交通に対する関心を高め、利用促進のための検討を行っていきます。

公共交通の役割分担

市内を運行している公共交通について、それぞれの特性をもとに、次のように位置づけました。

公共交通の役割分担



公共交通	役割
J R水郡線	主に市内の南北移動支援と水戸・大子方面等の市外への移動手段
路線バス	主に通勤・通学の移動手段と水戸・城里・那須烏山方面等の市外への移動手段
市民バス 乗合タクシー	平日の昼間の時間帯の市内移動手段
福祉タクシー	主に医療機関（市外を含む）への移動手段
一般タクシー	上記の公共交通で補えない移動時の移動手段
スクールバス	市内小中学校の児童及び生徒の遠距離通学時の移動手段
福祉有償運送	要介護者及び要支援者や障がい者等のうち、一人では一般タクシーその他の公共交通機関を利用することが困難な方の移動手段

市民バス・乗合タクシーの再編計画

市内公共交通の中の市民バスと乗合タクシーを、市民バスを主、乗合タクシーを従として再構築し、両者の共存を図ることを見直しの方針としています。

具体策としては、利用状況に応じた「市民バスの運行見直し」と、「乗合タクシーの本格運行の実施」を掲げ、前者については、利用状況をもとに、運行する日や運行便数を見直します。

また、今後も継続的に利用者の声に対応するよう見直しを行い、市外への運行や市民バスの運賃有料化についても検討を行います。

利用促進に向けた施策の展開

市内を運行している公共交通の利用促進のため、次の施策を検討・実施します。

- ①公共交通に関する情報提供
 - 市民バスと乗合タクシーについての運行表等の配布
 - 常陸大宮市ホームページと広報紙への掲載
 - 高齢者クラブの集会等での公共交通に関する説明
- ②市のマスコットキャラクターを活用した市民に親しみのもてる環境づくり

- 車両ラッピング
- 運行表等へのイラスト掲載



- ③地域との連携
 - 医療機関や商店との連携
- ④その他の利用促進方策
 - 国、県等との連携による利用促進
 - 転入者に対する市内公共交通のPR
 - 高齢者運転免許自主返納者に対する利用促進

なお、計画をもとに検討した結果、平成23年4月より市民バスの運行日と運行便数を変更することになりました。2月25日発行の広報常陸大宮お知らせ版をご覧ください。

市では、計画策定後も現状把握に努め、市民の皆さんが気軽に外出が出来るように、継続的に協議、検討していきます。

問い合わせ先

企画課 企画調整グループ

☎52-11111 内線323

平成22年4月から12月に叙勲・褒章を受章された方々

(発令順)

◇旭日双光章

森戸 榮さん

(野口平 地方自治に功労)

御前山村議員として15年余在職、議長等の要職を歴任された後、御前山村長に当選。調和と対話を旨とし、保健福祉センターをはじめ、温泉施設「四季彩館」を建設し、住みよい心豊かなまちづくりに積極的に取り組み、村政発展に大きく貢献されました。



◇旭日単光章

菊池 春雄さん

(盛金 消防に功労)

昭和35年に大子町消防団員として入団され、昭和43年に旧山方町消防団団員を拝命以来、41年余の永きにわたり、住民の生命・財産を守るため献身的に消防活動に精励され、人員確保が困難なか、団員の資質向上に努め、消防団発展のためご尽力されました。



◇瑞宝単光章

小室 みち子さん

(東富町 福祉に功労)

救護施設ナザレ園に調理員として就職後、介護員に職種替えをされ、特別養護老人ホームへの異動を経て養護老人ホームナザレ園介護副主任支援員として勤務され、32年の永きにわたり、常に入所者の生活の質の向上に努め社会福祉の発展にご尽力されました。



◇旭日単光章

増子 良雄さん

(宇留野 統計調査に功労)

国勢調査員及び農林業センサス調査員に任命されて以来、連続10回、45年の永きにわたり従事された他、商業統計調査、茨城県農業基本調査、労働力調査等、通算74回の各種調査に従事され、適正かつ正確な統計調査の遂行にご尽力されました。



◇瑞宝双光章

木村 誠さん

(家和楽 教育に功労)

大賀国民学校訓導、山方中学校教頭を経て、高部小学校長に昇格され、大宮中学校長を退職されるまで、37年余の永きにわたり教育一筋に歩まれ、当時の厳しい教育環境の中、確固たる教育理念を持ち、愛情を持って児童生徒の教育にあたられました。



◇旭日小綬章

矢数 浩さん

(栄町 地方自治に功労)

大宮町議員として16年余在職された後、大宮町長に当選、4期連続無投票の栄に浴され、豊かなまちづくりに努め、町政発展に尽力されました。また、住民理解と関係機関との調整に努め、県内最大数の5町村合併を実現させ、初代常陸大宮市長に就任されました。



◇藍綬褒章

小野瀬 泰さん

(鷹巣 統計調査に功労)

国勢調査員及び農林業センサス調査員に任命されて以来、連続11回、50年の永きにわたり調査に従事された他、茨城県農業基本調査、労働力調査、商業統計調査等各種調査に合計64回にわたり従事され、行政の施策推進に大きく寄与されました。



きちんと守ろう!! ごみ出しマナー

最近、粗大ごみ集積所へのごみの出し方が守られていない地区が見受けられます。集積所は地区で管理し清掃していますので、ごみの出し方のルールとマナーを守り、きれいな集積所を保つよう心掛けましょう!

下の写真はマナーの悪い集積所の写真です。

①家電リサイクル品



家電リサイクル品は市で回収していません。販売店へ処理を依頼するか、リサイクル料金を支払い指定取引場所へ搬入してください。

②衣類



衣類は可燃ごみになります。可燃ごみ袋に入れて、可燃ごみ集積所へ出してください。

③紙類



紙類は資源ごみです。種類別に縛って紙類の回収日に出してください。

④スプリング入りマットレス



スプリング入りマットレスはこのままでは回収しません。布部分はずし、布は可燃ごみ、スプリングは粗大ごみとして出してください。

■問い合わせ先■ 環境課 環境推進グループ ☎52-1111 (内線123)

市知ってニュース

12月23日、これまで任意団体として活動していた市体育協会が、一般財団法人となる設立総会が市役所で開催されました。

総会では、定款等が了承された後、評議員や理事が選出され、初代理事長には安野茂雄氏が就任しました。

今後は、行政から独立した市のスポーツ振興の中核を担う組織として、より充実した活動を展開していきます。

体育協会が法人化



4月から新たに市で行われる事業

市は、平成22年4月にまちづくり特例市(第2期)の指定を受け、平成22年度から平成23年度にかけて、市民や事業所の利便性の向上、事務処理の迅速化など、市民サービスの向上を推進するため、県で行っていた事務の一部を包括的に受け入れています。

平成23年4月から次の事務を新たに行います。

()は根拠法令

- ①家庭用品品質表示法に基づく立入検査等
(家庭用品品質表示法)
- ②消費生活用製品安全法に基づく立入検査等
(消費生活用製品安全法)
- ③認可外保育施設の事業開始の届出受理、事業停止また施設閉鎖の命令等
(児童福祉法)
- ④身体障害者交付手帳の交付事務等
(身体障害者福祉法)

なお、事務を担当するのは、①と②が商工観光課、③が福祉課子育て支援室そして④が福祉課となります。

■問い合わせ先■

企画課 行政改革推進室 行政改革推進グループ
☎52-1111 (内線323)

常陸大宮市の飛躍を願い 賀詞交歓会

1月5日、賀詞交歓会が、西部総合公園体育館において開催され、約400人が出席し新年のあいさつを交わしました。

交歓会では、平成22年中に善意銀行、医師確保基金、奨学基金、ふるさと応援寄付、施設整備に20万円(相当)以上の寄付をされた個人・団体への感謝状の贈呈と、叙勲・褒章受章者への記念品の贈呈が行われました。

また、アトラクションとして、祥絃会(前田幸子代表)による箏曲が披露され、華やかに新春を祝いました。



統計功労者表彰

1月19日、茨城県庁において平成22年度茨城県統計功労者表彰式が行われました。

大会では、旭日单光章を受章された増子良雄さんと藍綬褒章を受章された小野瀬泰さんの紹介や、統計功労者の表彰と感謝状の贈呈が行われました。

*農林水産大臣表彰(農林業センサス) 将秀(長沢)



決意新たに一出初式

1月9日、平成23年の消防出初式がおおみや消防広場で開催されました。

1,000人を超える市消防職員や消防団員等が一堂に会し、士気の高揚と団結の強化を図り、今年一年の防災に対する決意を新たにしました。

また、功績をたたえ、団員の皆さんや退団者、消防協力者の方々284人に表彰・感謝状が贈呈されました。



*知事表彰

菊池 仁(照田)

相田喜一郎(中富町)

國安せつ子(檜山)

小関 誠(入本郷)

*統計協会総裁表彰

宇留野房子(小野)

堀江 隆一(鷺子)

野上 健一(八田)

*厚生労働大臣表彰

伊藤電機株式会社茨城工場

なお、坏さんの2010年世界農林業センサス功労者農林水産大臣表彰の受賞は、永年にわたり農林水産省が所管する統計調査事務に協力され、その功績が認められ表彰されたものです。

善意をありがとう

順不同・敬称略

《常陸大宮市医師確保基金へ》

大宮陸運有限会社
代表取締役 塩幡防
200,000円

有限会社アオヤマ
代表取締役 青山みとり
200,000円

坂井 勇
200,000円

《常陸大宮市へ》



中村新聞店
車椅子1台



いっしょにまちづくり

全国トップクラスの交流事業

茨城大学 人文学部 講師
小原 規宏さん

今年度も常陸大宮市と茨城大学は様々な連携事業を実現させることが出来ました。とりわけ、農業を研究している私にとって、農業を介した地域と茨城大生との「定期的な」交流が実現したことは強く印象に残っています。



少子高齢化時代を迎えた今、交流人口の増大による社会の再構築は急務であり、地域の発信拠点としての役割を担う大学の多くで大学生と地域との交流が試みられています。そのようななかで進展した地域と茨城大生との交流は、質的にも量的にも全国でトップクラスだと思います。

交流に参加する学生は、回を重ねるごとに目を輝かせ、大学の中に新しい心地よい風を吹かせてくれています。

今年度も関係者の方々には大変お世話になりました。

- ・市と茨城大学とは相互に連携協力し「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。

旬の食材で料理教室

1月19日、おおみやコミュニティセンターの実習室で、生活に役立つ知識を学んでもらおうと、男女共同参画推進会議が中心となり、男の料理教室が開かれました。

講師は、市内で割烹料理店を営む茅根和史氏と長岡久人氏。

旬の食材スケトウダラを使った、料理2品を作りました。

参加した13人の方は、タラのさばき方のメモを取ったり、鍋に入れる調味料の順番や火加減等について質問したりしながら、熱心に取り組んでいました。



よく混ぜ、紙にすき上げました。
水を使う作業が多く、冷たく細かい作業でしたが、14人の参加者は丁寧に行っていました。
なお、この講座の詳しい活動の様子は、2月15日から市歴史民俗資料館で開催されている企画展「水戸の紙く生産と流通と消費」（最終日4月10日）でパネルを展示して紹介しています。

自分で育てた楮で紙すき体験

1月23日、美和高齢者コミュニティセンターで、体験講座「コウゾを育てて和紙を漉こう！」が行われ、舟生の菊池三千春さん、盛金の高村喜典さんの指導のもと、紙すき体験が行われました。

最初に、12月の講座で収穫し、表皮取りまで終わっている楮を柔らかくなるまで煮て、次にその楮を水にさらし、手でちり等を取ったあと、棒でよくたたいて打ちほぐしました。

そして、よく打ちこなしした楮を水の中にいれ、トロロアオイを加えてよく混ぜ、紙にすき上げました。

水を使う作業が多く、冷たく細かい作業でしたが、14人の参加者は丁寧に行っていました。

なお、この講座の詳しい活動の様子は、2月15日から市歴史民俗資料館で開催されている企画展「水戸の紙く生産と流通と消費」（最終日4月10日）でパネルを展示して紹介しています。

紙くを生産と流通と消費（最終日4月10日）でパネルを展示して紹介しています。

～「広報常陸大宮1月号」に誤りがありました～

5ページ

「◆貸借対照表(バランスシート)(H22. 3.31現在)◆」
「財源」の「純資産の部」の下部分に、「(資産の財源のうち今後返済しなければならない金額=将来世帯の負担分)」が誤って挿入されてしまいました。

総務部 財政課 財政グループ ☎52-1111 (内線376)

最終ページ

美和診療所の新診療所での診療開始は「今春」です。

保健福祉部 医療保険課 保険グループ

☎52-1111 (内線162)

お詫びして訂正します。

知市ってニュース!

このコーナーでは、市民の皆さんからの情報をお待ちしています。写真と原稿をお持ちください。

なお、お寄せいただいた情報は掲載できない場合もありますので、ご了承ください。

★企画課情報・広報グループ

☎ 52-1111 内線383

FAX 53-6010

✉ kikaku@city.hitachiomiya.lg.jp

第12回若あゆ駅伝大会

開催日：12月23日

主催：山方地域体育協会

教育委員会山方事務所

於：山方総合支所前から山方宿駅前の山方宿通り

参加者：山方地域の小学生87人（16チーム）



■総合順位

	小学生低学年の部（5.99km）		小学生高学年の部（10.06km）	
優勝	スピードスター	25分16秒	赤い彗星	43分05秒
準優勝	ファイヤーナイン	27分00秒	YMSランナーズ☆	43分38秒
第3位	ライトニングトライコーン	27分14秒	チームイナズマ	44分21秒

■区間賞 ※は大会新記録となります

	小学生低学年の部		小学生高学年の部	
	男子	女子	男子	女子
1区	三村 友彦 (スピードスター)	川野辺花音 (キセキをおこせ、1番星☆)	木村 海斗 (YMSランナーズ☆)	菊池 和花 (ちょんまゲーズ2010☆)
タイム	4分05秒	5分00秒	8分19秒	8分34秒
2区	片岡 利希 (ライトニングトライコーン)	小宮 一姫 (キラキラながれぼし☆)	木村 律也 (山方南SOS団)	渡辺 玲奈 (ちょんまゲーズ2010☆)
タイム	※4分25秒	5分13秒	8分20秒	9分26秒
3区	湖口 龍一 (スピードスター)	菊池 凛 (キラキラながれぼし☆)	菊池 圭祐 (YMSランナーズ☆)	檜山 杏奈 (山方霞空塾)
タイム	※3分51秒	4分33秒	※7分58秒	9分48秒
4区	菊池 立人 (スピードスター)	木村 夏実 (キセキをおこせ、1番星☆)	高村 和輝 (赤い彗星)	清水 愛美 (YMSランナーズ☆)
タイム	4分48秒	4分48秒	8分19秒	8分53秒
5区	小野瀬 太毅 (スピードスター)	伊藤 楓花 (キラキラながれぼし☆)	益子 拓海 (YMSランナーズ☆)	伊藤 瑠花 (ちょんまゲーズ2010☆)
タイム	※3分52秒	4分25秒	7分34秒	8分16秒
6区	猿田 宗大 (スピードスター)	鳥居那菜穂 (ファイヤーナイン)		
タイム	4分13秒	4分20秒		

	1区	2区	3区	4区	5区	6区
小学校低学年	1.01km	1.02km	0.99km	1.02km	0.99km	0.96km
小学校高学年	2.03km	2.02km	2.02km	2.02km	1.97km	

トップを独占!

12月5日、県立大子広域公園で茨城県スポーツ少年団大子・大宮ブロック交流駅伝競走大会が4部門に分かれて行われ、市内から参加したチームがすべての部門で優勝を飾りました。

《低学年男子の部》

優勝 大宮サッカーA
準優勝 大宮サッカーB
第3位 上小川A

《高学年男子の部》

優勝 大宮サッカーA
準優勝 大宮サッカーB
第3位 上小川A

《低学年女子の部》

優勝 小瀬
準優勝 大子エレメンタリーA
第3位 大子町ソフトテニスA

《高学年女子の部》

優勝 常陸大宮フェアリーズA
準優勝 大子エレメンタリーA
第3位 小瀬A



スポーツ大会結果

第6回常陸大宮市青少年空手道大会

開催日：12月19日

主催：市空手道連盟（高村卓雄会長）

於：西部総合公園体育館

参加者：167人

形の部

幼年

優勝 森島 琉
準優勝 照沼 青空
第3位 仲田 奈央
滑川 健介

小学1年

優勝 平賀 綾人
準優勝 金澤優希哉
第3位 宇良虎太郎
高林 大和

小学2年

優勝 藤原 響
準優勝 菊島 麻衣
第3位 斉藤 一
佐藤 萌花

小学3年

優勝 小森 菜那
準優勝 和久井峻矢
第3位 宿谷 優太
菊池 大暉

小学4年

優勝 大森優里花
準優勝 井上 翔太
第3位 吉田 麗
佐藤 嘉俊

小学5年

優勝 川野 麻衣
準優勝 小森 聖奈
第3位 田代 疾風
大橋 渚

小学6年

優勝 鈴木 玲哉
準優勝 金澤嘉瑞希
第3位 清水 直希
細谷 佳代

中学生

優勝 上久保 亮
準優勝 加藤 翔
第3位 小森 優良
五島 朱理

組手の部

約束組手

優勝 菊池 輝
準優勝 河野 公太
第3位 助川 大弥
廣木 武翔

幼年

優勝 森島 琉
準優勝 佐藤 瑠星
第3位 照沼 青空
滑川 健介

小学1年男子

優勝 金澤優希哉
準優勝 高林 大和
第3位 平賀 綾人
宇良虎太郎

小学2年男子

優勝 石川 大翔
準優勝 佐藤 慶典
第3位 酒井 翔耶
藤原 響

小学1・2年女子

優勝 伊藤あかり
準優勝 大内 梨聖
第3位 小林 奈央
佐藤 萌花

小学3年男子

優勝 菊池 大暉
準優勝 大山 七星
第3位 和久井峻矢
武藤 瑞祈

小学4年男子

優勝 井上 翔太
準優勝 佐藤 嘉俊
第3位 笹山 健斗
深町 大成

小学3・4年女子

優勝 細谷 佳生
準優勝 益子 真弥
第3位 大森優里花
小原 慈実

小学5年男子

優勝 河野 亮太
準優勝 小泉 朋季
第3位 石崎 晃太
河野 隆馬

小学6年男子

優勝 堀江 統偉
準優勝 関根 宏太
第3位 小森 淳平
川上 拡

小学5・6年女子

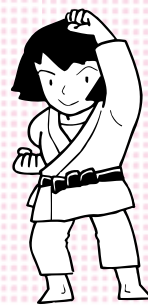
優勝 五島日香理
準優勝 小森 聖奈
第3位 海老原愛子
大橋 渚

中学男子

優勝 益子 裕哉
準優勝 上久保 亮
第3位 加藤 翔
伊藤 歩夢

中学女子

優勝 加藤 美聖
準優勝 所 桃菜
第3位 五島 朱理
鈴木 雅



第7回常陸大宮市近郊中学校バスケットボール大会

開催日：12月25・26日

主催：市教育委員会・市体育協会

於：西部総合公園体育館

参加チーム：18チーム

男子の部

優勝 那珂市立第三中学校
準優勝 常陸大宮市立第二中学校
第3位 東海村立東海中学校

女子の部

優勝 東海村立東海中学校
準優勝 城里町立常北中学校
第3位 常陸大宮市立大宮中学校

20年度まで年2回発行していた「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも・まなぶ」常陸大宮市生涯学習だより「DEMO（でも）」の編集委員が地域の「学びびと」を紹介します。

彩る花々で、心も和む里づくりを 小瀬 梅子さん（上小瀬在住）



生来、花好きであった小瀬さんは、結婚後もずっと、自宅周りに四季折々の草花を植え、楽しんでいました。近所や知人の方々からも、「きれいなね…。めずらしい花ね…。名前は何？」等と興味を示され、一緒に楽しむことが多くなりました。

～花に魅せられ、園芸への学びを～

多くの草花と関わりながら、名前や特性・栽培方法等を調べるうちに、草花に寄せる思いはますます強くなり、文献での学びも加わって、平成5年には、日本家庭園芸普及協会のグリーンアドバイザーの資格を取得しました。その後、県の海外女性派遣事業に参加して、ヨーロッパを視察したことで、園芸への興味をさらに深めていきました。

～多方面での活躍～

その後は、大好きいばらき県民会議が実施する「花と緑の環境美化コンクール」の中央審査委員として、県内各地の模範的な花壇づくりに触れ、花や樹木を生かした公園や環境の美化にも目を向けることが、一層強くなっていきました。十数年前には、「おがわ花の会」を結成し、市内外での「花による地域づくり」を実施するとともに、公民館講座や各種の園芸講師として活躍しています。そのようななかで、「『花づくりは人づくり』をモットーに、花を通じて出会った多くの仲間と共に、花による地域づくりを『生涯のライフワーク』としたい」と、目を輝やかせておられました。

県女性フォーラムや男女共同参画推進委員としても活躍し、「自然豊かなこの地で、美しい花と緑の潤いあるまちづくりのため役立っていったら」と、笑顔で話す姿に、女性リーダーとしてのお手本を見た思いがしました。



描くことを人生の糧に

関口 邦夫さん（高部在住）



ふすま2枚ほどもある大作「鷺子山上神社のまつり」を描いた作品の前で「何事も辛抱強く、長く続ける事が大事ですね」と語る関口さん。大正14年生まれという年齢を感じさせない力強い言葉でした。

～60歳の手習い～

関口さんは、子どもの頃から絵を描くのが好きだったそうです。本格的に油彩画を始めたのは60歳になってからで、当時、村の教育委員会におられた先生に教えていただき、絵画教室で腕を磨いてきました。村の文化祭には毎年出展してきました。また、いろいろな展覧会にも出展し、数々の賞を受賞されています。

薄塗りの写実的な画風は、写真と見間違う程緻密で繊細です。呉服店を営みながら、絵画クラブの会長として、月2回の勉強会を行うなど、常に絵に対する探求心に燃えています。一方、肖像画の依頼を受けたり、陶芸や切り絵も手掛けたりしています。「パワーの源は？」の質問に、「酒もたばこもやらない事かな」との答えでした。そして、頭の体操と称して、新聞のパズルなどにも毎号挑戦しているそうです。

～年を重ねてまだまだこれから～

2年前、白内障の手術をしたので色彩が鮮明になり、制作意欲も益々旺盛になりました。「絵を描いていると『無の気持ち』になり、煩わしさも忘れる。これからは、アトリエにある数々の作品をお店の中に展示して、多くの方に観ていただきたい」と言うておられました。



ふるさと見て歩き

第53回

高長寺の 一字一石経

◇市内唯一の 十六羅漢

高長寺は、横瀬村（現鷹巣地区）に寺院がなかったのを憂えた二代藩主光圀により、天和三年（一六八三）に石神村（現東海村）長松院より移されました。



▲高長寺本堂

この高長寺の寺宝の一つに文政九年（一八二六）年に造立された石造の十六羅漢と釈迦如来坐像があります。

「羅漢」とは仏教の世界で修行中の聖者を指し、そのうち十六羅漢は「おびんずるさま」として知られる賓頭盧尊者以下の十六名の修行者とされています。また、釈迦の五百人の弟子は「五百羅漢」として知られ、東京

目黒の五百羅漢寺などが有名です。市内では高長寺が唯一の十六羅漢の寺です。現在は十六羅漢のうち半数近くが破損していますが、背面にはそれぞれの尊名が刻まれ、台座や持ち物なども十六体がすべて異なった像容をしています。

十六羅漢には年に四回（春秋彼岸、七月及び十二月第二日曜日）、「お洗い」と呼ばれる行事があります。高長寺婦人会二十名ほどが集まっており、十六羅漢を洗い浄めるもので、そのあと、寺で飲食をして和やかに過ごします。



▲十六羅漢

◇一字一石経の掘り出し

この十六羅漢の中尊（中心となる像）である釈迦如来坐像の台座には銘文があり、高長寺十五世の月山梅照が羅漢像の造立を思い立ったことや、その完成までの経過を詳しく記すと同時に、地下に一字一石経（小石に一字ずつ経文を書いたもの）六万九千個が納められていることや

人々がそれに使う小石を集めた様子などが刻まれています。

昨年十月、貴重な文化財であり、寺宝でもある一字一石経を守り伝えていくため、高長寺と檀家の人々によつて一字一石経の掘り出しが行われました。掘り出された一字一石経はおおよそ二万個。重さは二・五トンに及びました。もともと十六羅漢は、現在地より100mほど南に安置さ



▲掘り上げられた一字一石経

れていたが、大正期頃、河川改修に伴って高長寺境内に移されたといわれています。この時既に、十六羅漢の下に一字一石経が埋まっていたことが判明し、十六羅漢の移動先の地下に、桶に入れて再び埋められたことも伝えられていました。こうして、移転の際にも一字一石経は羅漢と離れることなく地下に納められたのです。

経石には久慈川の河原から拾い集められた5cmから10cm径の平たい石が選ばれました。この石一つ一つに

墨で経文の一字が書かれています。書かれている文字から、「大乘妙典」や「般若心経」、「観音経」といった経文の文言が記されていると推測されます。

釈迦如来坐像の台座刻銘によれば、同時に作られた十六羅漢も村人の寄付によるものでした。十六羅漢、一字一石経の作られた文政九年頃は天災が続発し、水戸藩の圧制に村人たちが苦しめられていたとされます。確かに水戸藩領では、十八世紀後半以降、度重なる飢饉により、貧富の差が拡大し、人口が減少、田畑の放棄が進み、年貢負担も増大するという状況に追い込まれていました。

そのようななか、人々は、少しでも生活をよくしたいという願いを十六羅漢と一字一石経に託しました。二万個の石は、二百年前の人々の現世・来世への願いを私達に見せてくれます。



▲一字一石経。「道」「人」などの字が見える

※高長寺住職石崎信昭さんに聞き取り調査にご協力をいただきました。

歴史民俗資料館大宮館 ☎52-1450

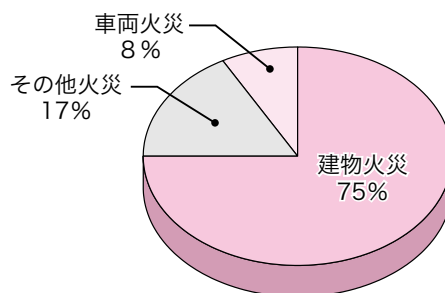
平成22年常陸大宮市の火災・救急・救助の概要

平成22年中に市内で発生した火災・救急・救助の概要をお知らせします。

火災発生状況

区 分	平成22年	前年比
火災件数		
建物火災	9件	▲3件
林野火災	0件	▲2件
車両火災	1件	0件
その他火災	2件	▲1件
合 計	12件	▲6件
損 害 額	39,882千円	▲13,876千円
焼 損 面 積	684㎡	▲1,353㎡
死 傷 者	2人	1人
負 傷 者	1人	▲1人
り世帯	8世帯	▲6世帯
災人員	17人	▲22人

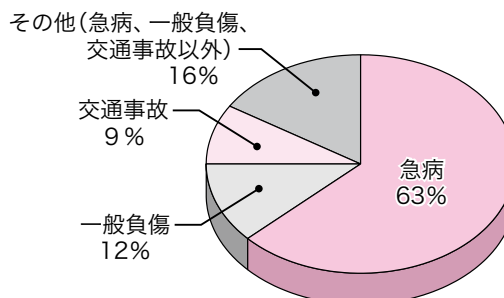
火災件数は、12件で昨年より6件減少しました。種別ごとにみると、建物火災が9件と多く、その他火災が2件、車両火災が1件でした。



救急出動状況

区 分	平成22年	前年比
搬 送 人 員	1,745人	203人
出 動 件 数	1,809件	206件
火 災	1件	▲2件
自 然 災 害	0件	▲3件
水 難 事 故	5件	4件
交 通 事 故	157件	▲17件
労 働 災 害	37件	▲4件
運 動 競 技	16件	6件
一 般 負 傷	226件	27件
加 害	9件	2件
自 損 行 為	24件	5件
急 病	1,143件	146件
そ の 他	191件	42件

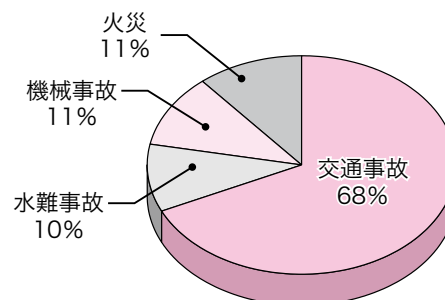
救急出動件数は、1,809件で昨年に比べ206件増加しました。一日当たりの救急出動件数はおよそ4.96件です。搬送人員は1,745人で203人増加しました。これは、管内住民のおよそ26人に1人が搬送された事となります。



救助出動状況

区 分	平成22年	前年比
出 動 件 数	19件	0件
火 災	2件	2件
交 通 事 故	13件	▲1件
水 難 事 故	2件	1件
自 然 災 害	0件	0件
機 械 事 故	2件	1件
建 物 事 故	0件	0件
ガス酸欠事故	0件	0件
爆 発 事 故	0件	0件
そ の 他 事 故	0件	▲3件

救助出動件数は、昨年と同様19件でした。救助人員は12人でした。



ガスコンロを 使う時



環境

豆

知

識



みんなでエコ

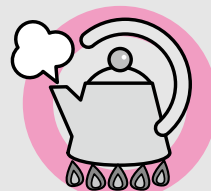
鍋の水滴を拭き取ってから コンロにかけましょう！

底が濡れたままだと水を蒸発させるのに余分なエネルギーが必要になります。鍋の水滴をよく拭き取ってからコンロにかけましょう。



炎が鍋からはみ出さないように 調節しましょう！

お湯を早く沸かそうと火を強くするとやかんからはみ出した火（エネルギー）は無駄になってしまいます。炎の大きさを調節しましょう。



健康は食から

ノロウイルス

主な症状

感染すると、1～2日で下痢、おう吐、吐き気、腹痛、軽度の発熱などの症状が見られます。通常、1～2日で治癒します。

ノロウイルスは感染力が強いので、家族の中に発症者がいると家庭内で二次感染を引き起こすことがありますので、十分な注意が必要です。

特に、寝たきりの高齢者や乳幼児など、免疫力が低下している方は、下痢やおう吐がきっかけとなって重症化したり死亡に至ったりするケースも起こり得ますので、早めに医療機関で受診することが重要です。

予防対策

基本的には手洗いです。調理する前やトイレに行った後の手洗いが重要です。

患者の手指や衣服にもウィルスが付着している可能性もありますので、患者と接触した後は、必ず手洗いをしましょう。

また、カキなどの二枚貝は十分に加熱して食べましょう。



健康アドバイス

「大人の予防接種」

常陸大宮済生会病院 内科
秋根 大 先生

今回は大人の予防接種、その中でもとりわけ呼吸器に関するワクチンについて説明します。ぜひ受けていただきたい予防接種はインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンです。

インフルエンザワクチンは毎年1回忘れずに打ちましょう。1回のワクチンの中には、その年に流行するであろうと予想されている3種類のインフルエンザに対するワクチンが混じっています。この予想は毎年、世界保健機構（WHO）が出すもので、世界共通です。

肺炎球菌ワクチンは肺炎の原因となる肺炎球菌を予防することが出来ます。65歳以上の方や、たばこを吸う方、手術やけがで脾臓がない方などに接種が勧められています。このワクチンは1回の接種で5年から10年の間、効果が続くといわれています。日本では長らく「一生に一度しか打てない」という状況が続いていましたが、2009年からは2回目の接種もできるようになりました。「一度しか打てないから」と見送っていた方、一度目の接種から5年以上経つ方はお近くの医療機関でご相談ください。

予防接種の効果には①その病気にかかりにくくする②かかったとしても重症にならないようにする、という2つがあります。皆さんの中でインフルエンザワクチンを打った年にインフルエンザにかかってしまったために、翌年からは打っていないという方はおられないでしょうか。その方は①の効果はなかったものの、②の効果はあったと考えられますので、ぜひ来年からは接種を再開していただきたいと思います。

インフルエンザに感染

高熱が出たので病院へ行ったところ、「インフルエンザ」との診断！

3日間寝こんでしまいました。熱が下がった後も体力がなかなか回復せず、しばらく外出を控えていました。

2月もう終わりですが、空気はまだ乾燥しています。皆さんも気をつけてくださいね。



▲休日、付き添われて病院を受診

門井の岡原遺跡で発掘調査

10月から12月にかけて、門井の岡原遺跡の発掘調査が行われました。

今回の調査では、縄文時代早期（8000年前）の竪穴住居1軒、奈良・平安時代の竪穴住居12軒、中世の地下穴12基や近世の墓7基など、様々な時代の遺構・遺物が発見されました。特に縄文時代早期の竪穴住居は県内でもあまり発見例のない貴重なものです。

調査終了間際の12月23日には地域住民を対象に説明会が行われ、約60人が集まりました。



ハクチョウが飛来

上村田地区の貯水池に、昨年11月下旬からハクチョウが飛来しています。

飛来は2年目で、1年目は、近所の方が自宅を用意した餌を与えていたそうですが、2年目は飛来数も増えたことから、市給食センターや近くの小中学校、スーパー等の協力を得て、餌であるパンを与えています。

今はまだ灰白色の幼鳥の羽根もやがて真っ白になり、春になるとシベリアに渡るため常陸大宮市を飛び立ちます。（取材日：2月3日）



広報 常陸大宮2月 第77号

発行日 平成23年2月25日

発行/常陸大宮市

編集/企画課

〒319-2292

茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



2011年7月24日までに 地上デジタル放送完全移行

デジタル放送に関するお問い合わせ先

地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

TEL:0570-07-0101または03-4334-1111

平日：9:00～21:00／土・日・祝祭日9:00～18:00

